

中期的な計画（中期計画（仮称））の作成に向けた 問いかけの状況について

1. 経緯

- ・「道路特定財源の見直しに関する具体策」が昨年12月8日に閣議決定。
- ・具体策では、「真に必要な道路整備は計画的に進めることとし、19年中に、今後の具体的な道路整備の姿を示した中期的な計画を作成する」とされたところ。
 - このため、国民各層に対して、本年4月から幅広く問いかけを開始。

2. 現在の状況

（1）国民へのアンケート（7月末まで実施）

- ・ホームページを開設するとともに、アンケート用紙をSA・PAや道の駅、自治体窓口等で配布。
- ・5月31日現在、総計31,729件の回答を頂いたところ。
 - ①ホームページ：7,604件
 - ②郵送、FAX等：24,125件

（2）有識者への意見聴取（7月末まで実施）

- ・大学教授、経済界、報道機関の論説委員及び解説者等に直接訪問。
- ・5月31日現在、1,596人から回答を頂いたところ。

（3）都道府県知事・市町村長への意見聴取（完了）

- ・知事・市町村長（1,874人）に文書で依頼（自由回答）。
- ・5月31日現在、全ての知事・市町村長から文書により意見を頂いたところ。
- ・頂いた文書は、ホームページで公表の予定。

3. 今後の予定

- ・意見聴取全体でとりまとめを行い（8月目途）、引き続き、繰り返し意見を伺いつつ、年内に中期計画を作成。

◇参考：問いかけの概要

(1) 国民へのアンケート

- ①道路政策や道路の整備における効率化のポイントに関する問いかけ
 - ・ 効率化を徹底的に進める上で、重要な事項は何か
 - ・ 無駄と感ずるものは何か

- ②今後取り組むべき政策のプライオリティに関する問いかけ
 - ・ 重点化を進める上で、特に優先度の高い道路政策は何か

- ③その他
 - ・ 道路政策や道路整備・管理全般に関するご意見

注) 回答のばらつきがなくなるよう、ホームページでは選択肢の順番を毎週変更するとともに、アンケート用紙を2通り作成。

(2) 有識者、都道府県知事・市町村長への意見聴取

- 今後の道路政策や道路の整備・管理について自由なご意見を伺う
- ・ 重点化を進める上で特に優先度の高い政策
 - ・ 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと
 - ・ その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関するご意見